**ご寄附のお願い**

**【ブルースター３年の歩みと現状】**

株式会社ブルースターを立ち上げて丸３年が経ちました。

「互いに信じ合える人と社会をめざして」という理念を掲げ、「生きている楽しさ」「生きている役割」「生きている意味」を生み出せる会社となりたいとスタッフ一同取り組んで参りました。ただ、株式会社で障害福祉の仕事をするということは、なかなか険しい道で壁にぶち当たっております。（基本的に収入は国からの一定額のお金のみ。利用される方からは法的に決められた実費料金のみ頂戴します。）

しかし、【福祉】の仕事で正しい営利を生み、社会の中で職業として選んでいただけるために（福祉の仕事では家族を持つのは厳しいと言われている）敢えて｢株式会社｣という形を続けて参りました。様々な方にご相談させて頂く中でNPOにするご意見も頂戴しましたが、NPOにするためにも超えなければならない規制が幾つもあることも事実です。当社といたしましては今後も株式会社として【福祉】の仕事を充実させつつ、新たに収益を生める部門を作れないかと模索を続けてまいります。ただ、現実として、今すぐ収益増加を見込める事業が無く、昨今の社会情勢もあり今回皆様にご協力をお願いすることとなりました。

**【なぜ寄附が必要なのか？】**

**「障がい者グループホームすずらん」とは**

当社は知的や精神に特性のある１６歳以上の方を対象に生活する場所を提供しながら、社会で生きていくためのスキルを日々の生活を通して伝えていく場所となります。利用される方には、児童養護施設出身や被虐待児として保護された方々も多く、日常生活支援と同時に精神的なダメージを時間（年単位）をかけて一緒になって乗り越える支援もメインで行っております。

**「放課後等デイサービスブルースター」とは**

知的や精神・身体に特性を抱えている小学校１年生から高校３年生までのお子さんの学校終わりからご家族が帰宅される１８時前後までや、国民の祝日や学校の長期休暇の際に、朝から夜までお預かりをして個別に勉強や遊びを通して社会性を身に着けられるような支援を行っています。こちらも家庭的に様々な課題を抱えている方も多く受け入れております。

**「寄附の使用目的」**

①グループホームを利用される方の生活を豊かにしたい

・食事

　朝３００円・夜５００円の中で全ての食料品（米・調味料も含）を購入し食事を提供。

当ホームは２０代の若者や男性が多いため、度重なる物価高騰も重なり、日常の食事（季節商品）やイベント（誕生会など）での食事を充実させることが困難となっています。

・家電製品

　　また彼らが使用する大型家電（冷蔵庫３台・エアコン１０台）は全て当社が修理交換代金を負担するため、その度大きな出費となります。

　・補足説明

　　障がい者グループホームは、利用者の食費・家賃・日用品費などは国が決めているため旬の食材

　　を購入することは社会情勢の変化により非常に困難な状況となります。

　②スタッフの知識向上のため

　　当社で働き続けることで「もっと専門的な知識を増やしたい！」と考える意欲ある人たちが増えています。社内では公的な研修や今までの経歴を活かしスタッフが様々な社内研修を行っていますが、それだけでは補えないことも事実です。スタッフが常に学びを深める事により、時代の変化に対応しながら支援する環境を整えていきたいと考えております。

　③支援の輪を広げたい

２０２４年に株式会社ブルースターは５周年を迎えます。次の一歩のために新しい事業展開を

検討しております。そのための資金の一部として活用させて頂ければ幸いです。

**【御礼・活動報告・返礼品として】**

●寄附してくださった方々のお名前・企業名を（例：Website、ブルースター新聞に）記載させていただきます。※匿名希望の方を除く

●ご寄附を頂いた企業様・個人様へ

活動報告・SDGｓの実現・子供たちの人権や現状に関する講演などの講師派遣をさせていただきます。

●ご希望の方へ：季節のグリーティングカード（子供達の手作りのクリスマスや年賀状など）送付

　　　　　　　　年２回（６月/12月）のブルースター&すずらん新聞の送付させていただきます。

**最後に・・・**

現場のスタッフだからこそくみ取れる子供たちや利用者さんの苦悩と現実があります。

個人・企業・団体の皆さまにご協力頂きながら「互いに信じ合える人と社会をめざしていきたい」と、日々切に考えております。放課後等デイサービスとグループホームを利用している一人ひとりが、自分の人生を楽しく生きられるように。どうぞお力添えを頂きたくお願い申し上げます。

最後までお読み頂き、ありがとうございました。

株式会社ブルースター

代表取締役　米本清美

　　　　　　スタッフ一同